

平成30年度

## 学校関係者評価書

評価対象期間 自：平成30年 4月 1日  
至：平成31年 3月31日

令和元年9月12日

中央動物専門学校  
学校関係者評価委員会

# 目 次

1. 目的 .....	2
2. 学校関係者評価 .....	2
3. 評価項目 .....	2
4. 組織 .....	2
(1) 学校関係者評価委員会 .....	2
(2) 任期 .....	2
5. 実施 .....	2
6. 評価要領 .....	3
7. 自己評価概要 .....	3
(1) 自己評価項目 .....	3
(2) 自己評価結果と改善点の概要 .....	5
8. 学校関係者評価結果 .....	7
(1) 会議進行 .....	7
(2) 評価結果 .....	8
9. 総括 .....	8
10. 項目別評価結果 .....	10

## 1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を教授できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、平成29年度の学校業務について、学校自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。

## 3. 評価項目

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

## 4. 組織

### (1)学校関係者評価委員会

委員：大野 公嗣	全日本動物専門教育協会 専務理事
新井富士雄	東田端自治会 会長
田中 淳	卒業生
會田真由美	保護者
小山田千秋	株式会社スタンダード 取締役
伊澤 伸元	鳥と小動物の病院 falconest 院長
鹿野 正顕	株式会社アニマルライフソリューションズ 代表取締役

(敬称略・順不同)

### (2)任期

委員任期を平成31年4月1日～令和3年3月31日とする。

## 5. 実施

令和元年9月12日（木）中央動物専門学校 1915 教室において、学校関係者評価委員会が開催された。

## 6. 評価要領

自己評価書を学校関係者評価委員に事前配布し、確認を得た。学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果について説明をしたうえで、学校関係者としての評価を実施した。

なお、会議の進行及び事務については学校が行い、自己評価結果に対する公正な評価に努めた。

## 7. 自己評価概要

### (1) 自己評価項目

自己評価項目は、文部科学省による「専修学校における学校評価のガイドライン」に準拠し、本校の実情に合わせ必要な取捨選択を行った。自己評価の項目は次の通り。

#### ア. 教育理念・目的・育成人材像

- ①理念・目的・育成人材像は定められているか
- ②学校における職業教育の特色は何か
- ③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか

#### イ. 学校運営

- ①目的等に沿った運営方針が策定されているか
- ②学則・細則・内規等は整備されているか
- ③業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- ④教育活動に関する情報公開が適切になされているか
- ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか

#### ウ. 教育活動

- ①各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか
- ②カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか
- ③授業評価の実施体制はあるか
- ④資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- ⑤成績評価の基準は明確になっているか
- ⑥教員資質向上のための研修が行われているか

#### エ. 教育成果

- ①就職率の向上が図られているか
- ②資格取得率の向上が図られているか
- ③退学率の低減が図られているか
- ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

## オ. 学生支援

- ①進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ②学生相談に関する体制は整備されているか
- ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ⑥保護者と適切に連携しているか

## カ. 教育環境

- ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ③防災に対する体制は整備されているか

## キ. 学生の募集と受け入れ

- ①学生募集活動は、適正に行われているか
- ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ③入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか
- ④学納金は妥当なものとなっているか

## ク. 財務

- ①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ③財務について会計監査が適正に行われているか
- ④財務情報公開の体制整備はできているか

## ケ. 法令等の遵守

- ①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ③自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- ④自己評価結果を公開しているか

## コ. 社会貢献・地域貢献

- ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

## サ. 国際交流(留学生)

- ①留学生の受け入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
- ②留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか
- ③留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか

## (2)自己評価結果と改善点の概要

### ア. 教育理念・目的・育成人材像

本校の目的・育成人材像・特色・将来構想と、企業等の人材ビジョンを調和させる連携機会を創出して、最新の実務の知識や技術を習得できるよう見直しを行い、より実践的な職業教育の質の確保に努める。具体的には、学生へは授業及びキャンパスライフを通じて、保護者へは学校説明会や保護者懇談会を通じて、企業等へは合同企業説明会等を通じて、地域社会へは積極的に地元イベントへ参加し、学園祭等学内イベントを通じて、相互理解を図りながら実践的な職業教育の質向上に努める。

特に、動物美容業界のニーズ及び動向についてはこれまで以上に企業や諸団体からの情報を集めてそれを活用していく。

### イ. 学校運営

前年度に学内で取り扱った校有動物及びモデル犬に関する事例を検証し、動物愛護精神の全職員間の認識、共通理解を図るなど、学内に組織化された「動物倫理委員会」の活動の頻度を上げて、職員の動物に対する倫理感の統一を図っていく。

地域・近隣等からの苦情（クレーム）の際の是正処置及び予防処置においては、学内で迅速に対応し、情報共有ができるような体制を整備しているが、全体への周知及び情報共有を徹底する必要があるため、全職員へ報告、回覧をする。

### ウ. 教育活動

動物看護教育の資格取得について、現状はカリキュラムの時数以外での補講を設定し資格取得に対応しているが、今後は社会のニーズを鑑みた進級・卒業要件の設定など、時代の変化にも対応するよう、学内基準の見直し等を継続して検討する。

教員の研修においては、組織的な取り組みとして、より積極的な参加を促し、一部強制力を発揮するなど、全職員の意識向上の啓発を図る。

授業アンケートの結果報告については、室長・各主任から各授業担当への伝達でも良いと思われるので、授業開始数ヶ月前には授業担当者が見られるようにしたい。

### エ. 教育成果

資格取得率については、特に動物看護師統一認定資格の合格率向上に向けてC B Tを導入する。

退学率の低減については、担任・担当だけの面談に加えて、特に問題視される学生の対応については職員全体で多角的にアプローチし、学力的な問題、精神的な問題の相談援助を行う。特に、担任以外にも気軽に相談できる学生相談体制づくりをより強化する。

卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握においては、独立開業を果たした卒業生も増えつつあることを踏まえ、その事業所の評価についても調査を進める等、更に踏

み込んだ評価の把握に努める。

卒業後のキャリア形成への効果の把握については、卒業生の日々の来校者の増加傾向を受けて、収集した卒業生情報を教育活動の改善に反映させる。来校しない卒業生の状況把握の方法については継続して検討していく。

また、同窓会組織との更なる連携強化を図り、研修会においては卒業生が参加しやすい日程、内容の調査を実施し、卒業生の動向把握や在校生の就職へと繋がるような企画を展開する。

卒業生のアンケート調査を実施し、今後の教育活動の改善へ反映させる。

## オ. 学生支援

学生からの相談については、カウンセラーや養護教諭を常駐させることが最も良いが、現状では賃金等のコスト面で雇用が厳しいため、教職員のカウンセリング講習の推進による相談対応スキルの向上を図ることが現状打破の最善の方策と考えられる。また、公的なカウンセリング機関や専門医の紹介など、全職員が迅速な対応ができるよう情報共有化を図り、その対応機関を明記したチラシを学内に設置し、学生が自発的に相談に行くことができる環境づくりを推進する。ただ、精神的な症例への対応は専門家による治療以外ないと考えられ、紹介できる専門医等の教職員間の情報共有をより強化する。

## カ. 教育環境

高額獣医療機器の購入については、必要に応じて公的な補助金を有効活用し、学校自体の負担軽減を図りながら、学生の就職先に対応して最新機種と従前の機器を併用した実習を展開する。

防災への対策として、校有動物の対応において、停電時の非常照明やフードの備蓄、飲料水や清掃用の水源確保もできているが、夏季に発生する災害を想定して空調設備が稼動しない場合の飼育動物の退避方法を検討・整備し、更なる万全を期する。

## キ. 学生の募集と受け入れ

学生募集活動及び教育成果の伝え方については、従前の本校ホームページや学校案内書に加え、SNSの活用による情報発信の機会増加を図っている。また、校内ガイダンスや会場ガイダンスにおいては、学内の最新情報や授業風景をタブレット使用により動画で伝えるなど、入学希望者や保護者に対しての本校の教育活動の理解をより一層深めていく。

学生募集イベントの内容に創意工夫を凝らし、特に在校生との接触機会増加など、参加者の満足度向上を図り、見学・来校者の出願率向上を目指す。

18歳人口減少という厳しい中でも、WEBの活用で広く本校の校名露出の機会増加を図り、動物分野希望者を掘り出し、志願者の割合を増加させ、入学定員の必達を目標

とする。

継続して非出願者に対する追跡調査を実施しており、その結果を受けて、イベント内容の再精査、設置科の構成等を含む、改善に向けた取り組みを行う。

## ク. 財務

財政基盤の維持・向上を図るために、学生数の増加を図り、入学定員数を確保し学生納付金収入を増加させ、退学・除籍などのドロップアウト対策を強化して学生納付金を確保していく。

中期事業計画の精査と下記を立案する。

- ・学校、学科、教職員等運営再編計画
- ・学生募集体制（広報体制）の強化

## ケ. 法令等の遵守

ウィルスやハッキング対策においては、最新の情報収集と対策の調査を継続して行い、事例が起きた時には、迅速な対応ができるようにする。

## コ. 社会貢献・地域貢献

学生のボランティア活動の奨励・支援として、新たに、地域猫活動、ボランティアトリマー等の情報提示や参加支援の検討を行う。また、単位認定や参加費用支援など学校補助の観点からの検討を図る。

地域に対する公開講座・教育訓練の受託については、生涯学習の観点からも対象者を広げて、地域のニーズ調査、実施可能な講座の企画・検討を推進していく。

## サ. 国際交流(留学生)

留学生の受け入れについて、本校の教育方針や教育内容、日本の文化の理解度向上のために、留学生向けのリーフレット制作・配付等を検討する。

動物分野に対する卒業後の就労査証取得を認めてもらえるべく継続的な働きがけを実施していく。

## 8. 学校関係者評価結果

### (1)会議進行

座長・坂本敏校長から、開会挨拶があり、学校評価概要（自己評価・学校関係者評価）について説明、その後、職業実践専門課程の認定状況の報告、動物看護師の公的資格化についての説明をした。

### ア. 主査の選任

坂本敏校長から、学校関係者評価の公正さを確保するため、主査選任の説明があり、



委員から大野公嗣委員が選出された。

#### **イ. 学校概要の報告**

坂本敏校長から、自己評価書をもとに「建学の目的」、「教育方針」、「基本的運営方針」、「具体的方策」「現状の分析」学校評価の実施要領についての説明があった。

#### **ウ. 自己評価結果の報告と質疑応答**

自己評価委員会佐藤洋子委員長（教務部長）より、平成30年度業務における自己評価結果について、各評価項目について説明をし、評価結果を示した。

大野公嗣主査を中心に、自己評価項目にそって質疑応答が行われた。質疑応答の後、評価結果及び意見を「評価シート」に記載した。

### **(2) 評価結果(評価の観点4項目に対する評価)**

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、学校関係者評価委員の評価を得た。委員による意見を集約すると次の通り。

#### **ア. 自己評価の内容が適切かどうか**

平成30年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当な評価結果となっており、自己評価の内容はほぼ適切と判断する。

#### **イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか**

ほぼ適切と判断する。

#### **ウ. 学校の重点目標や具体的方策が適切かどうか**

平成30年度学校運営計画を確認。基本的運営方針や運営重点項目や運営指針、具体的方策については適切と判断する。

#### **エ. 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか**

全体的には概ね適切と判断する。

### **9. 総括**

平成30年度における学校業務について、自己評価結果の報告を受け、学校関係者としての評価を行った。全般的に妥当な自己評価結果であると判断した。学校関係者評価の観点4項目と照らし合わせても適切な結果であると総括する。

なお、学校関係者評価委員による各評価項目に対する意見記述を、次ページ以降にまとめた。

主なものは次の通り。

- ① 留学生募集活動の強化を望む。
- ② 自己評価は概ね妥当であると判断するが、改善策が抽象的で曖昧と感じられる部分がある。とくに(6)教育環境の6-3においては、評価が3となっているが、昨今、自然災害が多発しており、被害も増加傾向にあることから、評価を4にするべく具体的な対策を講じる必要がある。学生相談に関する支援についても、退学とその防

止に繋がるため、迅速な対応を望む。

- ③ 就職することに対するイメージが湧いていない学生が多く見受けられるが、在学中のモチベーションに関わってくることでもあるため、現場の仕事に触れ合える機会を更に増やし、何を目的として仕事をしているのか、実感できる機会があると学生のモチベーションも上がっていくと思われる。また、就職するにあたり、就職先の福利厚生や社会保険、社風等も加味した上で就職活動を行うべきである。昨今の動物業界は、法人化している会社も増えてきており、処遇もよくなってきている。早い段階で就職活動を促すことが就職率向上にも繋がっていくと思われる。
- ④ 2年制と3年制の違いを明確化し、3年制のメリットをアピールできれば3年制の入学者も増加していく。
- ⑤ (3) 教育活動の3-6において、評価が3になっているが、教える側として、継続して教員の質向上に努めてもらいたい。
- ⑥ 学生が校有犬を通して、自主的に犬の出産に立ち会うなどの機会を設け、校内のボランティア的活動を認識してもらえたらよいと思う。
- ⑦ (4) 教育成果、評価3の項目については、学生の質の低下が問題と思われる。評価4にあげるべく、教員の授業方法についての研究も必要。
- ⑧ 学校におけるボランティア活動について、学生の本業は学業であり、どのレベルまでボランティア活動の推進を図るべきなのか疑問である。
- ⑨ 学生のボランティア活動は今後も積極的に支援してもらいたい。企業側からは学生が学校で学んだことをベースに見るが、同時に人間力、人間性も評価の基準にしている。学生の人間形成にも役立つと思われるので、今後も継続して学生が積極的に行動できる環境を設けてもらいたい。

以上

## 10. 項目別評価結果

### (1) 教育理念・目的・育成人材像

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(2) 学校運営

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
2-2	学則・細則・内規等は整備されているか	4	3	2	1
2-3	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
2-4	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(3) 教育活動

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
3-1	各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
3-2	カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか	4	3	2	1
3-3	授業評価の実施体制はあるか	4	3	2	1
3-4	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
3-5	成績評価の基準は明確になっているか	4	3	2	1
3-6	教員資質向上のための研修が行われているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

・3-6は4であってほしかった。

(4) 教育成果

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
4-1	就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
4-3	退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

- ・学生の質の問題もありなかなか難しい問題ではある。

(5) 学生支援

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
5-6	保護者と適切に連携しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(6) 教育環境

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

- ・ 防災に対する体制は非常に大切だと感じており、この部分の評価は4になるよう努力していただきたい。



(7) 学生の募集と受け入れ

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか	4	3	2	1
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(8) 財務

	評 価 項 目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(9) 法令等の遵守

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
9-4	自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

- ・校内の生活からボランティア精神を認識させる方策があれば良いのではないかと。
- ・ボランティア活動を通じて人間形成をさせるためにもぜひ支援をしてください。
- ・学業とのバランスも大切である。

(11) 国際交流（留学生）

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
11-1	留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか	4	3	2	1
11-2	留学生の受け入れ、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
11-3	留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

学校関係者評価結果	適切 ○○○○○○○○	不適切
-----------	-------------	-----

【自由記述】

- ・留学生受け入れ強化を望む。